

オプション紹介

■共通

- ・aimoSense-f 保護カバー 1,000円(税別)
本体に付属しているカバーです。色のバリエーションを変えてご利用頂けます。
シリコン製。全7色(ブラック、グレー、ネイビー、ブルー、グリーン、イエロー、レッド)。

- ・ポケットWi-Fiルーター(富士ソフト FS030W) 27,000円(税別)



病院内、在宅でaimoSense-fをインターネット上のクラウドサーバにつなげるための装置です(※1)。自動再起動設定で長期間安定稼働します。
ACアダプタを使用することでバッテリーレス稼働も可能です。

※1 ご利用には別途データ通信専用SIMカードが必要になりますので、別途ご用意頂くか、弊社推奨の格安データSIMサービス(590~/月)もご案内可能です。

■在宅用

- ・在宅用無停電電源装置(UPS) 28,000円(税別)

在宅でaimoSense-fをご利用時に、万が一の停電時に電力を供給します。
また、その際にはお手持ちのスマホやタブレットに警告を発します。



- ・稼働時間 2.5時間 ・長寿命バッテリー ・無償保証期間3年間
- ・ACアダプターに対応した広間隔コンセント ・ギガビットネットワークサージ保護
- ・省エネルギー ・一目でわかるUPSのステータス

サイズ:高さ 約190.0mm × 幅 約91.0mm × 厚さ 約310.0mm
質量:約6.8kg
本体付属品:ACケーブル、アラーム警告用通信ケーブル

※オプション品につきましては一括購入となります。

Q&A よくあるご質問

Q1 対象となる機関は？

人工呼吸器など異常アラートが発生する機器を使用している患者様がいる機関全てになります。

Q2 対象となるエリアは？

日本全国どこでも対象になります。

Q3 在宅で利用できますか？

インターネットに接続できる環境があれば、在宅で利用可能です。

Q4 申し込みから導入までの期間は？

現時点では約2ヶ月程でお届けします。

Q5 いくらですか？

月額データ通信量:800円~/2台(税別)です。

Q6 不具合のサポートはどうなりますか？

自動リカバリー機能により、再起動させることでほぼ解決しますが、それでも不具合があるようであれば、販売会社にお問い合わせください。

Q7 停電時は使用できますか？

一部可能です。
オプション環境によって機器を使用する場合があります。詳しくはお問い合わせください。

Q8 スマートフォンとはどの機種ですか？

iPhone・Androidのどちらも対応可能です。

販売 / 開発元

株式会社 リッジワークス Ridge Works

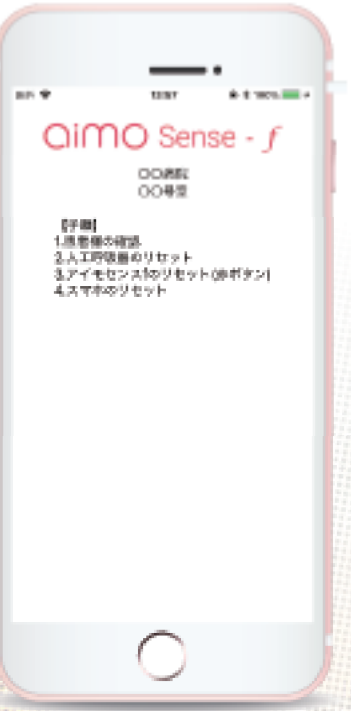
本社 〒064-0825 札幌市中央区北5条西25丁目4-1 525MMビル 2階
TEL/FAX 011-213-7492
E-MAIL info@ridgeworks.co.jp
URL http://www.ridgeworks.co.jp

人工呼吸器アラートセンサ

aimo Sense[®]-f

各種医療機器向けアラートセンサ

aimo Sense[®]-fx



離れていても、
アラートをキャッチできて安心。



スマホや
タブレットが
受信機

多くの
医療機器に
対応

遠くにも
わかる

製品情報や、ご購入のお問い合わせ先

株式会社リッジワークス TEL 札幌本社 011-213-7492
E-MAIL info@ridgeworks.co.jp

グラフィックデザイン

日本医療 Design Center
http://mdc-japan.org/

aimoSense-fの主な仕様

消費電流	最大約600mA(送信時)	電源	DC7V~12V (添付ACアダプターによる給電)
使用温度範囲	0~40℃		
使用湿度範囲	10~85%(結露しないこと)	対応プロトコル	TCP/IP(IPv4)
アラーム検出可能音圧	約45dB以上 ※環境によって数値が増減する場合がございます。	インターネット接続方法	WiFi:IEEE802.11b/g/n
		通信周波数	2.4GHz帯
アラーム検出周波数	2,000Hz以上(設定可能)	同梱品	ACアダプター(12V1A)
		その他	日本国外では使用できません。

※インターネット接続に際して、お使いのインターネットルーター機器の特定のポート番号を解放して頂く場合がございます。

aimo Sense-f/fx

— 現場の声から生まれました。

aimoSense-fによって、医療スタッフやご家族のストレスが軽減されることが予想されます。

当院では、これまで、人工呼吸器(IPPV)を使用する際は、HCUで管理していました。

長きにわたり、離脱困難な方を一般病棟に転搬するにも夜勤帯の少ない看護師の人数でアラームが、聞こえるか懸念されていました。また、結核病棟や感染症病棟で人工呼吸器を使用する際は、アラームは、聞こえないから、どうしたら良いか？ということは、以前から懸念事項としてありました。

既存のものは、費用がかさんだり、配線が複雑だったり、使用するには至っていませんでした。



小松市民病院
臨床工学技士
前田智美さん

そこで、第4回メディカルメッセ(名古屋)で紹介されていたaimoSenseを改良してどうにかならないかと考えました。aimoSenseは、従来、騒音をキャッチしスマートフォンに転送通知するシステムを持ち合わせていました。人工呼吸器は機種によってアラーム音は異なりますが、周波数で識別すれば、可能になるのではないかとメーカー側に提案して、aimoSense-fの開発に至りました。aimoSenseは今後も進化を続ける予定です。

小松市民病院

1950年に市立小松病院として設立した後、1957年には国民健康保険小松市民病院に改称。以来、石川県南加賀医療圏における急性期医療の中核病院であり、災害対策の拠点病院、研修医の教育研修などさまざまな機能を担っています。がん医療、救急医療、生活習慣病を診療の柱とし、さらには、小児医療、合併疾患を有する妊婦に対する産科医療、急性期精神医療にも重点を置いています。

診療科目数22 / 病床数340 (2019年 4月現在)
石川県小松市向本折町水60番地

aimoSense-f/fxの機能

人工呼吸器のお部屋から離れても確実なケアができる。

これからの時代にこたえる

「安心な機能」を考えました。

見逃しのリスクが減ります。

aimoSense-fをリセットしない限り通知され続けるので、見逃しのリスクが減ります。初回通知と再通知では異なる画面でわかりやすくお知らせします。



現場から遠く離れていてもアラートに気がつけます。

人工呼吸器のアラートをいち早く察知し、現場から遠く離れていてもアラートに気づくことができます。通知を受け取るiOS/Android端末は、Wi-Fiだけでなく4GやLTEといった携帯電話通信ネットワークなどに繋がっていれば、院内外でアラートの受信が可能です(docomo Wi-Fiルーターを使用した4G環境にて実証済み)。



異常音発生時の受信の流れ

- 2017年 12月 第4回メディカルメッセ(名古屋)
- 2018年 4月 試作および試験運用開始
- 2018年 8月 特許申請
- 2018年 8月 日本呼吸療法医学会学術集会(東京) 口演「アイモセンスを改良し人工呼吸器のアラームを転送する試み」
- 2018年 9月 中西国臨床工学会(徳島) 口演「アイモセンスを改良し人工呼吸器のアラームを転送する試み」
- 2019年 4月 第5回メディカルメッセ 筒井宣政基金セミナー(名古屋) 講演「人工呼吸器アラートセンサーの開発について」
- 2019年 5月 日本臨床工学会(盛岡) 口演「アイモセンスを改良し医療機器のアラームを転送する試み」



コンパクトなサイズでベッドサイドに置きやすい。

人工呼吸器のタイプに合わせて設置できるので患者様に直接ケアする際も場所をとりません。



多くの人工呼吸器に対応しています。

アラーム音がサンプリング可能であれば反応できます。まずはご利用中の呼吸器メーカーにご相談ください。

在宅機器への設置も可能です。

インターネット接続可能なWi-Fi通信環境があれば、病院内に限らず在宅機器への設置も可能です。

専用の受信機を持ち歩く必要がありません。

使用しているスマートフォンにiOS/Androidアプリをインストールして利用するので、通知を受け取るために、離床センサー等のように、専用の受信機を持ち歩く必要がありません。

人の声などの生活音に対する誤検出低減を図っています。

一般的にアラーム音に使用される約2,000Hz以上の音のみを検出(周波数は変更可能)し、人の声などの生活音に対する誤検出低減を図っています。[*]

(※全ての生活音に反応しないわけではありません。)

患者様のもとに遅れて複数人が駆けつけることはありません。



人工呼吸器のアラートに対して、対応を行ったかどうかの通知もされるので患者様のもとに遅れて複数人が駆けつけることはありません。誰かがやってくれるだろうと思って誰も駆けつけないという事態を防ぐことができます。